

みやぎバットの森 植樹祭・野球教室

11月5日、町内を会場に「みやぎバットの森植樹祭・野球教室」が開催されました。このイベントは平成17年にプロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」が宮城県に誕生したのを記念して、県内各地にバットの原木となるアオダモの木を植樹し、新たな森づくりを行うものです。

今回で12回目となるイベントに、町内からは七ヶ宿小学校の児童が参加しました。



植樹祭

七ヶ宿小学校と白石市のスポーツ少年団を始め関係者の皆さんにより、横川地区にアオダモの苗木、100本を植樹しました。

子どもたちが苗木を植える際には、楽天球団の永井ジュニアコーチ、牧野ジュニアコーチに手伝いをいただきながら植樹を行いました。参加した方々は、自分の手で植樹した苗木がバットとして活用できる日を待ち望んでいる様子でした。



野球教室

午後からは、楽天球団の永井ジュニアコーチと牧野ジュニアコーチによる七ヶ宿小学校の児童と、白石市のスポーツ少年団の子どもたちへの野球教室が町民グラウンドを会場に行われました。七ヶ宿小学校の児童たちは、野球未経験者がほとんどでしたが、柔らかいボールを使いみんなで野球を楽しみました。

最後は、みんな一緒に記念写真を撮り、元プロ野球選手であるジュニアコーチにサインをもらおうと長蛇の列ができました。



心に響くハーモニー ～七ヶ宿町学校音楽祭～

10月27日、活性化センターを会場に、第26回七ヶ宿町学校音楽祭が開催されました。今年も関保育所の子どもたちから、町内の小・中・高校生までの児童・生徒が一堂に会し、練習してきた歌声・演奏を披露しました。

関保育所の子どもたちと七小児童の元気な歌声、七中生と西山学院高校生の美しい合唱、そして白石高校七ヶ宿校の迫力あるバンド演奏が会場に響き渡りました。また、西山学院高校生による「快活さにありがとう」という手話を交えた合唱では、観客も一緒に手話をして会場は大きな盛り上がりを見せました。

最後は、「もみじ」を会場にいる全員で歌い、心に残る学校音楽祭となりました。



大きな声で歌った関保育所の子どもたち



元気な歌声を届けた小学生



息のあったハーモニーを奏でた中学生



大迫力の生バンドを披露した白高七ヶ宿校生



会場が一つになった西山学院高校生による手話披露